

SAMPLE

特集レポート No. 086

契約書・請求書関連サービスの最新動向

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2020年06月04日

はじめに

- 近年、リーガルテックと呼ばれる法律関連の業務に対するサービスが注目を集めている。法律関連の業務は長年、伝統的で保守的なやり方を重んじる傾向にあり、テクノロジーの導入が他業務と比較して遅れていたが、徐々に欧米を中心に広がり始め、日本国内でも浸透し始めている
- 本レポートでは、リーガルテックの中でも多くの企業に関連する、契約書関連サービスと請求書関連サービスについて重点的に取り上げる。注目されているサービス、企業の最新動向について理解する一助としたい
- また、リーガルテックの更なる普及に向けた課題や新型コロナウイルスの影響についても整理し、リーガルテックの今後の展望についても考察する

本資料の流れ



I. リーガルテック概要

II. 注目サービス

1. 契約書関連サービス
2. 請求書関連サービス

III. リーガルテックの展望

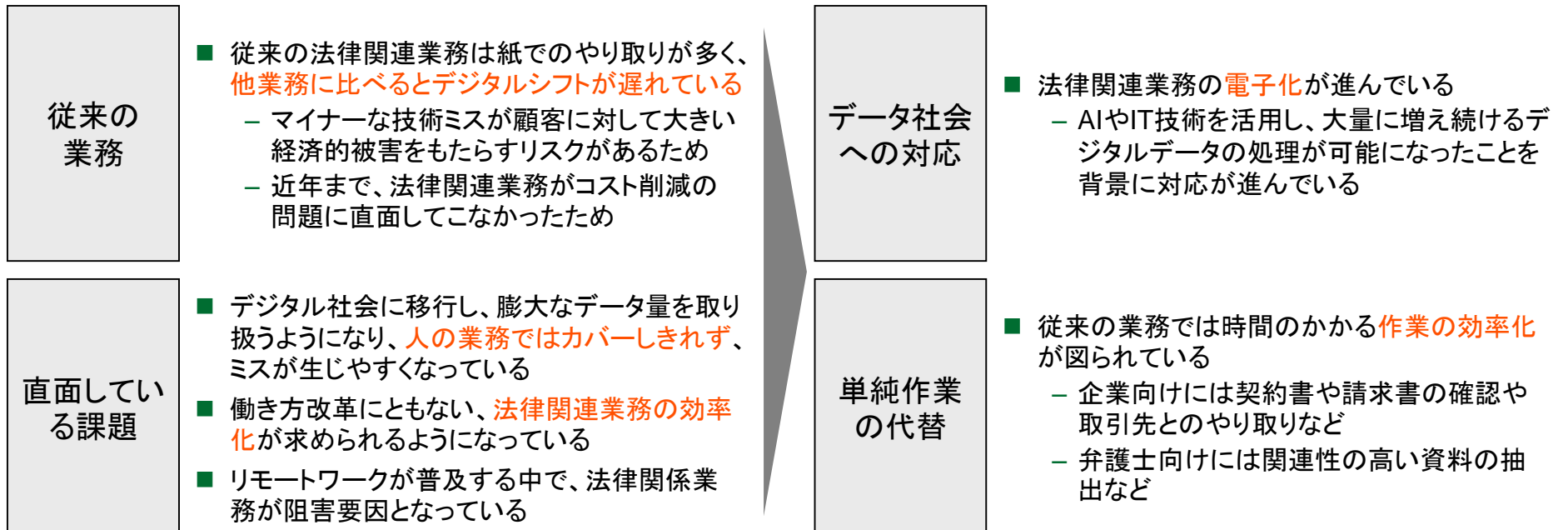
リーガルテックとは

- リーガルテックとは、法律関連の業務の効率化を目的としたテクノロジーであり、近年、企業への導入が進んでいる

リーガルテックとは	<ul style="list-style-type: none"> ■ リーガルテックとはAIやIT技術を活用し、法律関連業務を効率化させる新しい技術のこと ■ 企業の法務部や弁護士など、法律に関わる一部業務をリーガルテックで代替することにより、人がより高度な業務に専念できる他、コスト削減やサービス水準の向上が見込まれている ■ 2010年初頭から欧米で導入され、日本では近年、企業での導入が増加している ■ 2020年初頭の新型コロナウイルスによるリモートワークの普及により注目度が急速に高まる
-----------	--

従来の法律関連業務

リーガルテックによる変革



リーガルテックのサービスカテゴリ

- リーガルテックには法人の業務の効率化から弁護士事務所が活用する専門的なサービスまで幅広く存在する
- 本レポートでは、法人の業務を効率化するサービスの中でも特に契約書・請求書周りのサービスについて紹介する

カテゴリ	サービス例	利用目的
1 文章作成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人向けのAIによる契約書のチェック、修正サービス ■ 個人向けの契約書の自動生成サービス、ブロックチェーンを利用した証拠管理サービスなど 	主に 法人の通常業務 の効率化 (本レポートの対象)
2 文章管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人向けの契約書などの変更点を自動で表示する書類管理サービス ■ 弁護士向けのクラウド上で情報を一元管理するサービスなど 	
3 契約締結	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人向けの契約書の印鑑などに代わる電子契約サービス <ul style="list-style-type: none"> – その他コンプライアンスの強化や業務効率を上げるサービスなど 	
4 請求・申請・出願	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取引先との請求書のやり取り(発行・受取)を、電子データで行うWeb請求書クラウドシステム ■ 法人向けの登記や特許申請など、法務に関わる申請・出願をサポートするサービス 	
5 リサーチ 検索ポータル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事件に最適の弁護士とマッチングさせるための個人用検索ポータル ■ 過去の判例を検索できるeDiscoveryサービスなど 	主に 弁護士事務所 の業務効率化や 事件時に活用される サービス
6 デューデリ フォレンジック	<ul style="list-style-type: none"> ■ AI技術による法務監査業務の自動化サービス ■ 情報機器から消去されたデータを復旧させ、法的証拠を探るサービスなど 	
7 紛争解決 訴訟	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人間または企業間で起こる問題を代行で解決するオンラインサービス 	

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に関及し、「打ち手」を導出します。

